

は じ め に

私たちの街・仙台は、現在109万を超える人口を有しながら、豊かな緑や広瀬川の清流に象徴される良好な自然環境に恵まれ、これを受する多くの市民の皆さまの手によって、「杜の都」の愛称とともに、今日まで営々として受け継がれてきました。

「杜の都環境プラン」は、こうした私たちの共有財産とも言うべき「杜の都」の良好な環境の維持・向上を、市・市民・事業者が一体となって進める上で道しるべとなるものです。

本市においては、令和3年3月に、令和3年度から令和12年度までの10年間を計画期間とする「杜の都環境プラン(仙台市環境基本計画)」を策定しました。本計画では、目指す環境都市像として「杜の恵みを活かした、持続可能なまち」を掲げ、仙台の強みである豊かな自然環境や、市民協働で環境課題に取り組む力を活かし、環境面から持続可能なまちづくりを進めることとしています。特に、地球温暖化対策やプラスチック資源循環は、世界的にも喫緊の課題であり、本市としても率先して取り組みを進めております。

本計画の4年目となる令和6年度は、脱炭素都市づくりを一層推進するため、脱炭素先行地域づくり事業や、中小企業者等向けの各種補助金情報をパッケージ化して分かりやすく発信するなどの、事業活動における温室効果ガス排出削減事業を実施いたしました。また、自然共生都市づくりの実現に向けて、「自然共生サイト」の認定取得など生物多様性の保全事業を推進いたしました。さらに、定禅寺通等食品リサイクル推進モデル事業などの取り組みを実施し、資源循環都市づくりの取り組みを推し進めました。

今私たちが享受している「杜の都」の豊かな恵みを未来に継承していくことは、この街に生きる私たちの責務であり、そのことを常に念頭に置きながら、本プランで示した施策体系に基づき、これからも各般の取り組みを着実に推進してまいります。

本書は、令和6年度における仙台市の環境の現況と、本市が実施した施策を年次報告書として取りまとめ、公表するものです。本市の良好な環境を保全・創造し、将来の世代へと確実に引き継いでいくためには、市民・事業者・行政が持てる力を十分に発揮し、いきいきと活躍できる環境づくりが必要です。ともに手を携え、未来に向けた環境都市づくりを、市民の皆さまとの協働により進めてまいりたいと考えております。

令和7年10月
仙台市長 郡 和子

目次

「杜の都環境プラン(仙台市環境基本計画)」のあらまし	3
SDGsとの関係	4
「杜の都環境プラン」(計画期間:令和3年度～令和12年度)における定量目標の進捗状況	5
【特集】本市の環境分野における主な取り組み	6
第1章 本市の環境の概況	9
第2章 目指す環境都市像に向けた分野ごとの取り組み	13
〔1〕脱炭素都市づくり	14
〔2〕自然共生都市づくり	23
〔3〕資源循環都市づくり	31
〔4〕快適環境都市づくり	39
〔5〕行動する人づくり	63
第3章 「杜の都環境プラン」の推進のための取り組み	71
〔1〕開発事業等に対する環境配慮の推進	72
〔2〕仙台市役所の取り組み	74
〔3〕環境保全のための組織	76
巻末資料	77
I 仙台市環境基本条例	78
II 環境関係審議会諮問事項	81
III 環境保全年表	82
IV 環境基準等一覧	86
V 用語解説	92